

国際インド債券オープン（毎月決算型）

追加型投信／海外／債券

第81期末（2018年9月10日）	
基準価額	6,960円
純資産総額	17,027百万円
第76期～第81期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-4.7%
分配金合計（*）	780円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

（*）各期の分配金を合計したものです。

第76期（決算日：2018年4月10日）
第77期（決算日：2018年5月10日）
第78期（決算日：2018年6月11日）
第79期（決算日：2018年7月10日）
第80期（決算日：2018年8月10日）
第81期（決算日：2018年9月10日）

作成対象期間

（2018年3月13日～2018年9月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、インドの公社債、および国際機関債を実質的な主要投資対象とし、債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく御願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

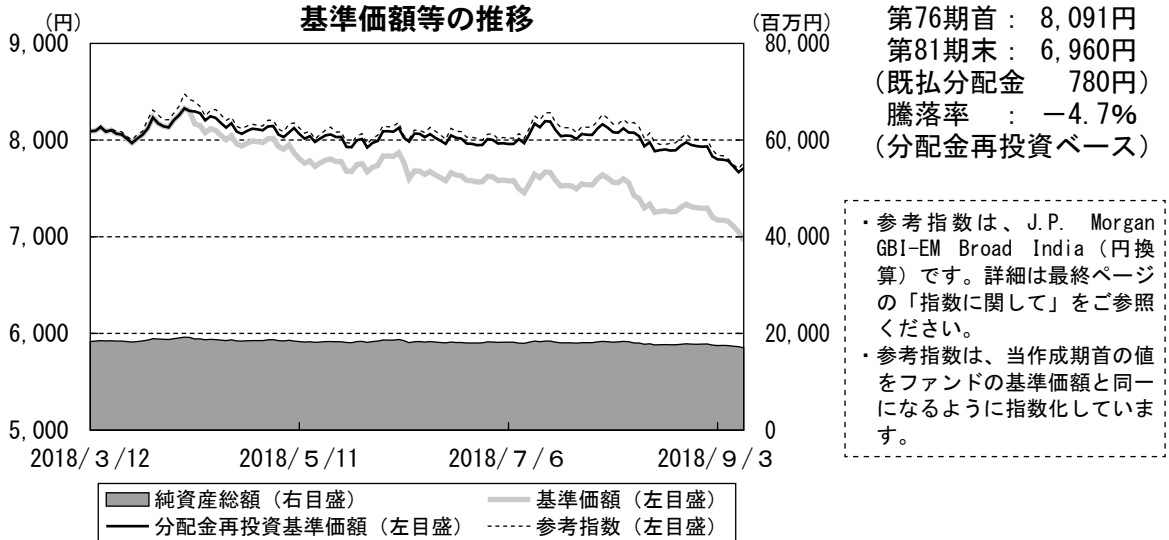
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第76期～第81期：2018/3/13～2018/9/10）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



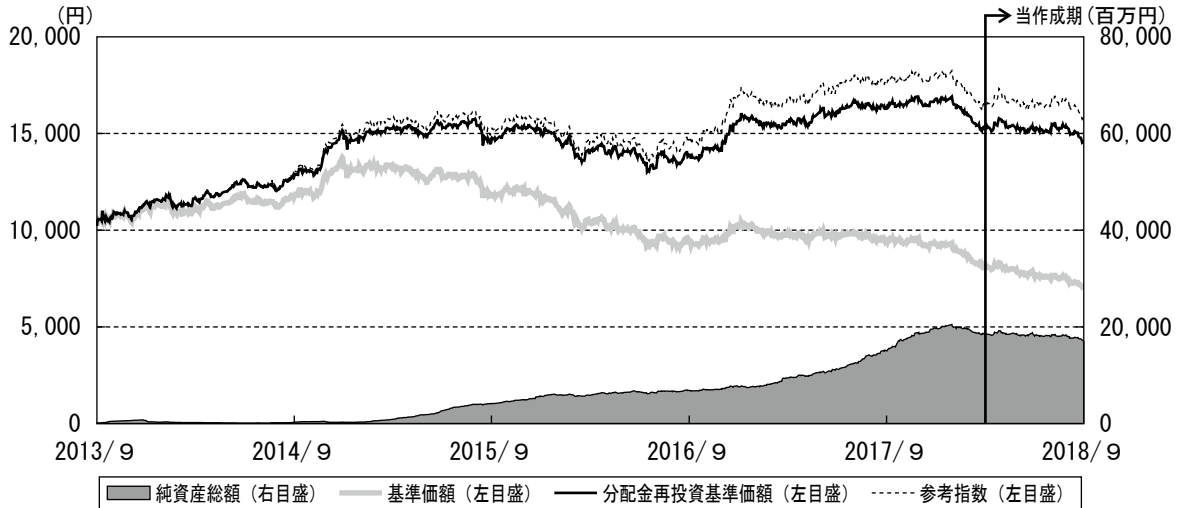
実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	・保有債券の利子収入を得られたことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	・インド5年国債利回りが上昇したことや、インド・ルピーが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年9月10日～2018年9月10日）



- ・分配金再投資基準価額、参考指数は、2013年9月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

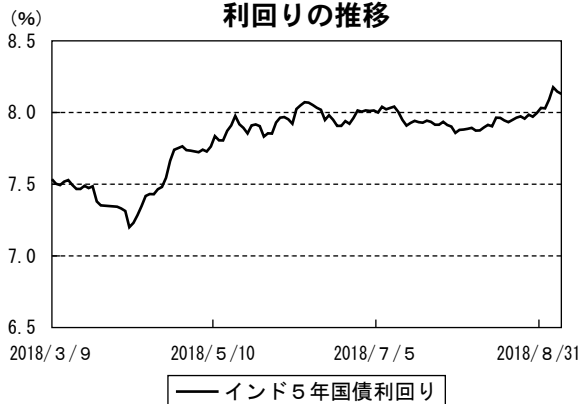
	2013/9/10 期初	2014/9/10 決算日	2015/9/10 決算日	2016/9/12 決算日	2017/9/11 決算日	2018/9/10 決算日
基準価額（円）	10,221	11,736	11,711	9,373	9,370	6,960
期間分配金合計（税込み）（円）	—	960	1,760	1,800	1,560	1,560
分配金再投資基準価額騰落率	—	25.1%	14.4%	-5.0%	17.2%	-10.3%
参考指数騰落率	—	26.2%	17.1%	-2.7%	19.4%	-9.5%
純資産総額（百万円）	105	257	4,102	6,816	15,011	17,027

- ・ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

（第76期～第81期：2018/3/13～2018/9/10）

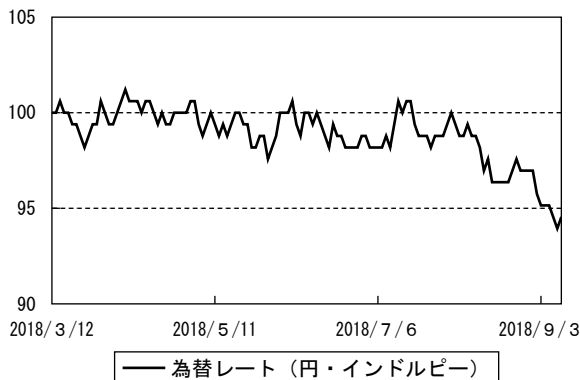


・現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・作成期間を通してみると、インド5年国債利回りは上昇しました。
- ・当作成期首は、2018年2月消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回った他、2018年度上期（2018年4月～9月）の国債発行額が例年を下回ることが公表されたことなどから利回りは低下基調となりました。4月に入り、原油価格上昇に伴うインフレ加速懸念や財政赤字に対する懸念を背景に利回りは上昇に転じました。その後、インフレ加速懸念などからインド準備銀行（RBI）は2018年6月・8月の2会合連続で政策金利の引き上げを実施し、原油価格上昇に伴う貿易赤字やインフレ懸念、インド・ルピー安が嫌気され、利回りは上昇して当作成期末を迎えました。

為替市況の推移 （当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・作成期間を通してみると、インド・ルピーは対円で下落しました。
- ・米国が通商政策において保護主義的な姿勢を強めた局面やイタリア政局不安など、投資家のリスク回避的な姿勢が強まる局面ではインド・ルピーは対円で下落した一方、米国の通商政策に対する懸念が和らぐなど、投資家のリスク選好度が高まる局面ではインド・ルピーは対円で上昇し、概ねレンジ内で推移しました。その後、中国経済の先行き不透明感等を背景とした人民元安や「トルコショック」などによる新興国通貨安の波及もあり、インド・ルピーは対円で下落して終わりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<国際インド債券オープン（毎月決算型）>

- ・インド債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。

<インド債券オープン マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ4.0%の下落となりました。

- ・インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメン
ト・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。
※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債
を含みます。
- ・インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券へ
の投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（N D
F）等を行いました。
※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定し
た取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引で
す。
- ・インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いインド・ル
ピー建債券を積極的に組み入れています。
- ・外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。
- ・デュレーションについては、作成期の初めは5.4程度とし、作成期末は5.0程度としまし
た。
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほ
ど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。
- ・当作成期は、保有債券の利子収入を得られたことがプラスに寄与したものの、インド5
年国債利回りが上昇したことや、インド・ルピーが対円で下落したことがマイナスに作
用し、基準価額は当作成期首に比べ下落しました。

（ご参考）

債券種別組入比率

作成期首（2018年3月12日）

種別	比率
国債証券	40.1%
特殊債券	9.4%
社債等	46.6%
地方債証券	—

作成期末（2018年9月10日）

種別	比率
国債証券	37.1%
特殊債券	10.8%
社債等	47.8%
地方債証券	—

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・社債等には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

格付別組入比率

作成期首（2018年3月12日）

格付種類	比率
A A A	—
A A	—
A	—
B B B	87.4%
B B	—
B 以下	—
グローバル格付け未取得	8.7%

作成期末（2018年9月10日）

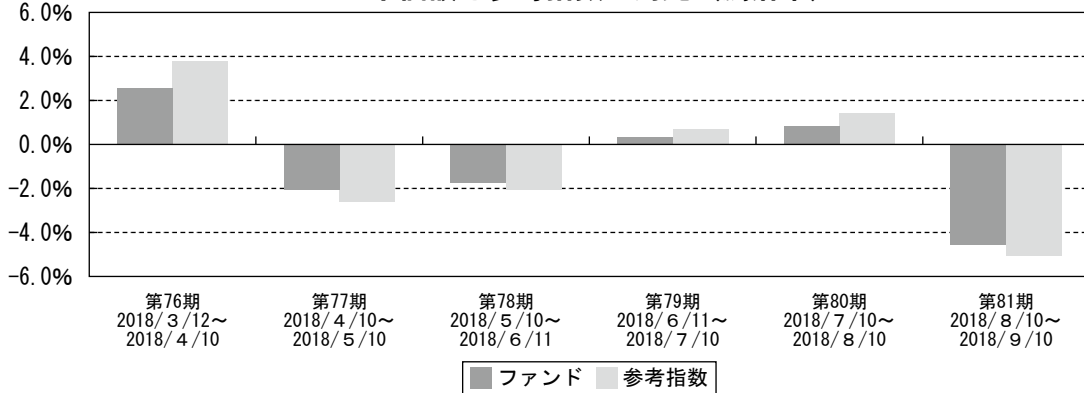
格付種類	比率
A A A	—
A A	—
A	—
B B B	86.5%
B B	—
B 以下	—
グローバル格付け未取得	9.2%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・格付けは、Moody's、S & P、Fitchの格付け（本報告書において「グローバル格付け」ということがあります。）のうち、上位の格付けをS & Pの表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第76期～第81期：2018/3/13～2018/9/10）

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2018年3月13日～ 2018年4月10日	2018年4月11日～ 2018年5月10日	2018年5月11日～ 2018年6月11日	2018年6月12日～ 2018年7月10日	2018年7月11日～ 2018年8月10日	2018年8月11日～ 2018年9月10日
当期分配金	130	130	130	130	130	130
（対基準価額比率）	1.567%	1.625%	1.682%	1.704%	1.720%	1.834%
当期の収益	40	26	31	30	32	27
当期の収益以外	89	103	98	99	98	102
翌期繰越分配対象額	2,960	2,858	2,761	2,662	2,566	2,464

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<国際インド債券オープン（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、インド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

<インド債券オープン マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・インド政府は、引き続きインフラ整備による経済効率化や対内直接投資の自由化等、構造改革を推進していくと思われれます。また、2016年にブラックマネーの一扫を目的とした「高額紙幣の廃止」が実施されたことや、2017年に国営銀行への資本注入、不良債権削減計画が示されたことで金融システム正常化に向けた取り組みが評価されます。2018年2月に公表された政府予算案では、農村部向けの歳出を増加させたことなどから財政赤字拡大が示されたものの、引き続き財政健全化に向けた政府の姿勢に変更はないと考えています。引き続き、堅調なファンダメンタルズは維持されるとみていますが、財政赤字やインフレ動向、来春の総選挙を控えた政治動向、RBIの金融政策スタンスなどについて今後注視していく必要があると考えます。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。債券市場は概ね堅調に推移するとの見通しから、デュレーションは5.1程度とする方針です。
- ・インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。
- ・インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。
- ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

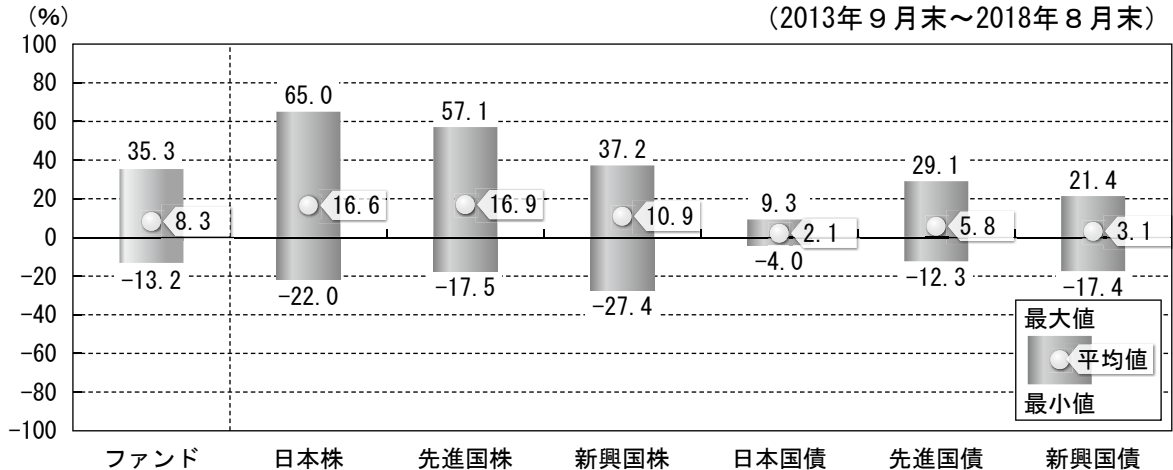
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2021年8月10日まで（2011年12月16日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	インド債券オープン マザーファンド受益証券
	インド債券オープン マザーファンド	インドの公社債*、および国際機関債 *社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。
運用方法	インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指します。	
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年9月から2018年8月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

（2018年9月10日現在）

組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

	ファンド名	第81期末 2018年9月10日
<input checked="" type="checkbox"/>	インド債券オープン マザーファンド	99.7%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

上記 の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

純資産等

項 目	第76期末 2018年4月10日	第77期末 2018年5月10日	第78期末 2018年6月11日	第79期末 2018年7月10日	第80期末 2018年8月10日	第81期末 2018年9月10日
純資産総額	18,868,779,171円	18,408,786,252円	18,102,548,229円	18,002,456,135円	18,018,751,320円	17,027,714,037円
受益権口数	23,104,500,474口	23,395,806,604口	23,815,788,740口	24,013,424,831口	24,256,248,277口	24,466,075,046口
1万口当たり基準価額	8,167円	7,868円	7,601円	7,497円	7,428円	6,960円

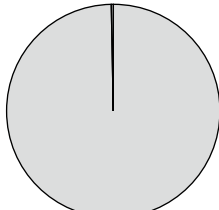
・当作成期間中（第76期～第81期）において
 追加設定元本は4,396,376,669円
 同解約元本は 2,589,530,801円です。

種別構成等

【資産別配分】

コール・ローン等

0.3%

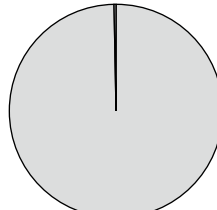


マザーファンド受益証券
99.7%

【国別配分】

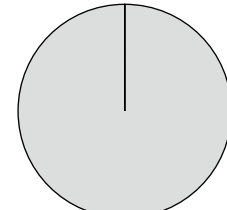
その他

0.3%



日本
99.7%

【通貨別配分】



円
100.0%

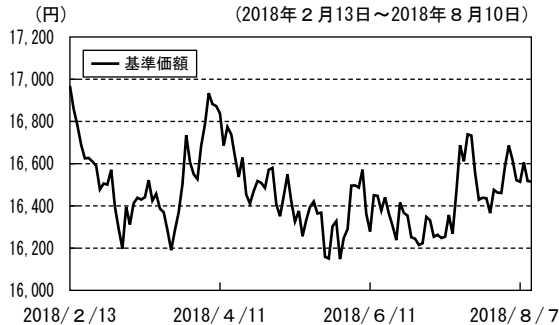
- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

インド債券オープン マザーファンド

（2018年8月10日現在）

基準価額の推移



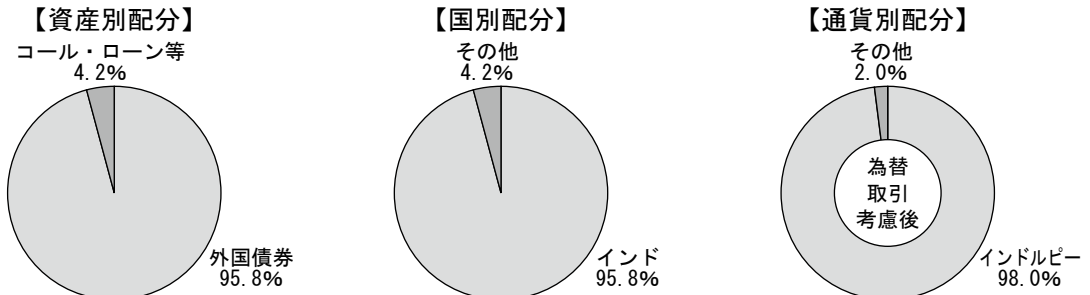
組入上位10銘柄

（組入銘柄数：104銘柄）

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	7.59 INDIA GOVT 260111	債券	インド	国債	4.1%
2	8.6 INDIA GOVT 280602	債券	インド	国債	3.9%
3	8.4 INDIA GOVT 240728	債券	インド	国債	3.8%
4	8.15 INDIA GOVT 261124	債券	インド	国債	3.7%
5	9.2 INDIA GOVT 300930	債券	インド	国債	3.6%
6	7.88 INDIA GOVT 300319	債券	インド	国債	3.6%
7	7.59 INDIA GOVT 290320	債券	インド	国債	3.5%
8	7.61 INDIA GOVT 300509	債券	インド	国債	3.2%
9	7.72 INDIA GOVT 250525	債券	インド	国債	3.2%
10	5.375 OIL INDIA 240417	債券	インド	社債	2.8%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・社債には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	7円	0.045%
(保管費用)	(7)	(0.044)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	7	0.045

期中の平均基準価額は、16,432円です。

（2018年2月14日～2018年8月10日）

- （注）1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- （注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- （注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

154040

指数に関して

○ファンドの参考指数である『J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）』について

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）（出所：J.P. Morgan）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorgan GBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorgan GBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信